



「マルタの冒険」ステキな園の一日」

#4 「さがしもの」



## 1、曇り空のニンジン保育園に

ムーちゃんの大きな泣き声がしています。

お庭でしゃがみ込んでいるムーちゃんの周りに  
マルタたちが心配そうに輪を作っています。

ムーちゃんがどうして泣いているのか

聞いてみましたが、

「キラキラ、だからもの、どこ？」  
というばかりでした。

それを聞いたマルタたちは、

ムーちゃんが泣いてしまうほど大切にしている  
宝物をなくしてしまったのだと思いました。



2、 マルタたちは、手分けをしてムーちゃんの「キラキラ」を探すことにしました。

みんな、「キラキラ、キラキラ」と

つぶやきながら、ブランコや、お庭、

お部屋をすみからすみまで探しました。



3、 マルタたちはもう一度ムーちゃんのそばに  
集まって、それぞれに探してきた

「キラキラ」を見せました。

ムーちゃんは、涙で濡れた頬をぬぐいながら  
顔をあげました。



4、マルタとオツクンは、  
いっしょにクリスマス用の星の飾りを  
持ってきました。

残念ながらムーちゃんは、  
寂しそうに首を振りました。



5、 トムがサッカーボールを、

モン吉がバナナを持ってきた時、

ムーちゃんはまた泣き出しそうになりました。



6、その時、曇り空の中から太陽が顔を出しました。  
すると、太陽の光を浴びて、

あたり一面がキラキラと輝きだしたのです。

マルタたちは辺りをみわたして、

思わず驚きの声をあげました。

「ワ~~~~~!」



7、その時、ウルルの足下になにかが  
キラキラと光りました。

太陽のおかげで、  
今まで誰も気がつかなかったところが  
明るく照らされています。



8、ウルルはそれを手に取った時、  
ムーちゃんは喜んだ顔をして

「それえ！」  
といました。

ウルルは拾ったものをムーちゃんの  
手のひらにのせると、  
みんなの目がそれをじっとみつめました。



9、 トムが「アメ？」というと、  
みんなは笑って「ビー玉！」と  
声を合わせました。

太陽の光を浴びたビー玉は、  
ムーちゃんの手のひらでキラキラと  
輝いていました。



10、 ムーちゃんはマルタたちにいいました。

「さがしてくれて、ありがとう」

みんなも

「ムーちゃん、本当によかったね、キラキラだね」と、喜んでいます。

ビー玉が、太陽の光をうけていつまでも輝いていましたが、みんなにお礼を伝えたムーちゃんの笑顔は、もっとキラキラとしていました。